

## 委員意見について

## 中期計画について

- ・ F D センターにおいては、取り組み内容を具体化するとともに、責任者を明確に定めて、実効性を高めることが必要である。
- ・ メディアセンターにおいては、学内情報のセキュリティが確保されるインフラを整備を図る一方、機器等の調達にあたっては、学生にいかに関活用させるのかを十分に踏まえた発注を行うこと。また、責任者を明確に定めることが必要である。
- ・ 総合文化学科の T O E I C スコアの数値目標については、平均スコアが何点アップしたかでなく、学生に対し企業が最低限求めるレベル（500点～550点）を達成できるだけの学生の英語力が身についたかどうかを重視し、数値目標として定めるべきである。
- ・ 評価制度を構築する際には、最大のステークホルダーである学生の質がどの程度高まったどうか、また、県民が支える公立大学として県内就職率がどの程度となったかについて重視すべきである。
- ・ 剰余金が発生し、その用途を定める場合は、具体的な目的を定めて有効に活用すべきであり、少額を取り崩していくような使い方はやめ、できる限り積み立てる方がよい。
- ・ 人事にあたっては、良い教員を如何に確保し、また、その教員のモチベーションを高める工夫をすべきである。

## 業務方法書について

- ・ 特に意見なし

## 役員報酬等支給について

- ・ 特に意見なし